

庁 建 発 第 000057 号
令和 6 年（2024 年）9 月 27 日

熊本市議会
議長 寺本 義勝 様

熊本市長 大西 一史



新庁舎における議会棟のあり方検討について（依頼）

本庁舎等の建替えについては、これまで、平成 29 年度の耐震性能調査以降、平成 30 年 6 月の公共施設マネジメント調査特別委員会における審議に始まり、その後も庁舎整備に関する特別委員会はもとより市議会全体において、継続して熱心にご審議いただいてまいりました。

今般、「熊本市新庁舎整備に関する基本構想」を策定し、新庁舎の目指すべき姿、規模、建設地、事業費等に関する市としての基本的な考え方をお示したところですが、今後、基本計画策定に向けた検討を進めるにあたり、新庁舎における議会棟のあり方については、まずは市議会としての基本的な考え方をお示しいただきたいと考えております。

市議会におかれましては、以下の検討事項につきまして、現議会棟の状況を踏まえ、ご検討いただきたく存じます。

【検討事項】

新庁舎における議会棟の目指すべき姿（基本理念）

議会機能を実現するための基本事項

その他必要な事項

※詳細については別紙参照

【回答期日】

令和 6 年度末まで

別紙：検討事項の例

・新庁舎における議会棟の目指すべき姿（基本理念）		
・議会機能を実現するための基本事項		
・改善すべき点（課題）の整理		
・議会棟のあり方（基本的な考え方）の整理		
(例)	【基本事項】	円滑かつ適正な議会活動ができる施設とする ICT 環境の整った施設とする
	【本会議場】	一般傍聴席と個室傍聴席を設ける
	【控室】	会派や人数の増減に対応可能な控室とする
	【図書室】	市民利用を可能とする
	など	